

★★令和3年度茨北町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業評価★★

単位:円

| 市町村総計 | 総事業費 | 補助対象事業費 | 国庫補助額 | 交付金充当経費 | 起債額 | その他 | 補助対象外経費 |
|-------|-------------|-------------|-----------|-------------|-----|------------|---------|
| | 144,422,651 | 144,073,436 | 1,250,000 | 109,478,000 | - | 33,345,436 | 349,215 |

| No | 交付対象事業の名称 | 事業概要 | 交付金を充当する経費内容 | 事業 始期 年月日 | 事業 終期 年月日 | 支出費目 | A | | | | | | | 事業実績に基づく成 果及び評価 ①成果・効果 ②評価(課題等) |
|------|---------------------------------|---|---|-----------------|-----------------|---|---|---|---|------------------------------------|---------------------------------------|--|---|--|
| | | | | | | | 総事業費 (B+C) | 補助対象事業費 | C 国庫補助額 | D 交付金充当経費 | E 起債額 | F その他 | G 補助対象外経費 | |
| 事業合計 | | | | | | | 3,299,296 | 3,299,296 | - | 2,669,000 | - | 630,296 | - | |
| 1 | 防災活動支援事業 (避難所) | 多くの災害時は梅雨から台風シーズンまで避難所を開設する機会があり、簡易折り畳みベッドを購入することで接触を避けるなど感染症予防を図る。 | 【備品購入費】 簡易折り畳みベッド 8,240円×364台×1/10=3,299,296円(うち熊本県総合交付金630,000円充当) | 令和3年6月1日 | 令和4年3月31日 | 備品購入費 需用費 委託料 工事請負費 備品購入費 負担金、補助及び交付金 その他 | - - - - 3,299,296 - - | - - - - 3,299,296 - - | - - - - 2,669,000 - - | - - - - - - - | - - - - - 630,296 - | - | ①避難所開設時(町内4箇所)における避難所確保及び避難者の負担軽減が図られた。 ②収納場所の確保(各避難施設)及び避難所開設訓練の実施を行うと共に、避難所における感染症対策を実施していく。 | |
| 事業合計 | | | | | | | 1,102,465 | 1,102,000 | - | 1,102,000 | - | - | 465 | |
| 2 | 町有施設利用者支援事業(第2弾) | 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、売上が大幅に減少している町有施設利用者事業者を支援するため、町有施設使用料の減免(1年間)を実施する。 | 【需用費】 ①【富岡港船客待合所使用料の減免(2事業者)】④(42,900円+10,890円)×12ヶ月=645,480円、⑤(22,385円×3ヶ月)+(44,770円×9ヶ月)=470,090円 【減免額計算】①+②-①,115,570円×1/2(減免)=57,785円 →当該施設の需用費(電気料)へ58千円充当 ②【物産館施設使用料の減免(1事業者)】③32,640円×6ヶ月=195,840円、④85,280円×3ヶ月=195,840円、⑤77,520円×9ヶ月=697,680円 【減免額計算】③+④+⑤=1,089,360円×1/2(減免)=544,680円 →当該施設の需用費(光熱水費)へ94千円、(トイレ清掃委託料)へ450千円充当。 | 令和3年4月1日 | 令和4年3月31日 | 需用費 委託料 工事請負費 備品購入費 負担金、補助及び交付金 その他 | 652,465 450,000 - - - - | 652,000 450,000 - - - - | 652,000 450,000 - - - - | - - - - - - | 630,296 | ①新型コロナウイルス感染症拡大に伴い売上げが大幅に減少している町有施設利用者事業者2事業者に対し、施設使用料の減免を行うことで、経営支援に繋がった。 ②新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、引き続き町有施設利用者への支援が必要である。 | | |
| 事業合計 | | | | | | | 1,106,732 | 1,106,732 | - | 551,000 | - | 555,732 | - | |
| 3 | 公共的空間安全・安心確保事業(老人福祉センター) | 高齢者の方々の健康状態等の相談や健康の増進、レクリエーション活動をする場所として茨北町老人福祉センターがあるが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、高齢者等の感染リスクが懸念される。また、現在のトイレは和式中心で、洋式が1か所しかなく、高齢者にとって足腰に負担のかかる和式利用はほとんどない。それにより洋式トイレが混雑する状況である。そこで、和式トイレ3か所を洋式トイレへ、洋式トイレ1か所を温水洗浄機能付トイレへ環境整備を行う。さらに、高齢者の憩いの場となる「老人福祉センター」に空気清浄機を設置し、除菌及び換気を徹底することで、少しでも安心して活動ができる場所を提供することで、高齢者の閉じこもりの防止・生きがいづくりに繋がり、高齢者が安心して生活できる「まちづくり」を行う。 | 【需用費】 【環境整備費】 (トイレの洋式化)858,120円×1.10=943,932円(うち熊本県総合交付金472,000円充当) 【備品購入費】 (空気清浄機)37,000円×4台×1.10=162,800円(うち熊本県総合交付金82,000円充当) | 令和3年6月1日 | 令和4年3月31日 | 需用費 委託料 工事請負費 備品購入費 負担金、補助及び交付金 その他 | 943,932 - - 162,800 - - | 943,932 - - 162,800 - - | 471,000 - - 80,000 - - | - - - 82,800 - - | 472,932 | ①混雑防止ができたことで、感染リスクが軽減され、利用しやすい環境となり、閉じこもりの防止・生きがいづくりに繋がった。 ②今後も感染防止対策を徹底し、高齢者の筋力維持、閉じこもりの防止や生きがいづくりにしての施設利用に努めていく必要がある。 | | |
| 事業合計 | | | | | | | 1,764,070 | 1,764,070 | - | 757,000 | - | 1,007,070 | - | |
| 4 | 新型コロナウイルスワクチン接種移送事業 | ワクチン接種のための医療機関まで行く手段がない高齢者等に対し、タクシー等の助成を行うものである。死亡に至る恐れのある新型コロナウイルスに感染しないため、また、自分の命を守るため、高齢者の方々にワクチン接種を勧奨し、町民が健康で安心していきいきと暮らせる社会生活の構築を図る。 | 【委託料】 新型コロナウイルスワクチン接種移送業務委託料1,603,700円×1.10=1,764,070円(※65歳以上1,175件、64歳以下55件)(うち熊本県総合交付金831,000円充当) | 令和3年5月1日 | 令和4年3月31日 | 需用費 委託料 工事請負費 備品購入費 負担金、補助及び交付金 その他 | - 1,764,070 - - - - | - 1,764,070 - - - - | - 757,000 - - - - | - 1,007,070 - - - - | - | ①高齢者や障がいのある方等の新型コロナウイルスワクチン接種のため、医療機関までの交通手段を確保したこと、接種率がアップした。 【接種率】71.45% 4,570/6,396人(12歳以上) ②今後も引き続き、ワクチン接種等感染予防対策に努める。 | | |
| 事業合計 | | | | | | | 23,570,456 | 23,570,456 | - | 23,570,000 | - | 456 | - | |
| 5 | 新型コロナウイルス対策に伴う鳥獣害対策(個体処理施設整備)事業 | 本町の基幹産業である農業において、インシシによる農作物への被害は年々深刻化している。現在、県及び関係機関から委託しているが、金銭的負担も大きい。また、農作物の被害は、農業者の収入減少や労働力の不足、さらには、農業者の健康被害につながる恐れがある。そこで、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して整備を進めているICP補償制度の活用と併せて、個体処理施設の整備を行うことにより、感染拡大防止対策を踏まえた効果的な捕獲・処理体制の確立から、捕獲従事者の労務負担軽減に繋げ、新たな捕獲従事者の育成と共に、処理後の成果物を堆肥利用することで、本町が推進する資源循環型社会の形成に寄与すること等、農作物被害の低減を通じた農業振興を図る。 | 【委託料】 堆肥成分等検査委託料270,000円×1.10=297,000円 【工事請負費】 ①乾燥炉(設置費を含む)1基=16,591,400円、②乾燥炉(電気工事業費含む)1棟=3,777,056円、③付帯設備(ベルトコンベア)1台=715,000円、④付帯設備(破砕機)1台=1,430,000円、⑤付帯設備(ふるい機)1台=770,000円 合計①~⑤=23,273,456円 | 令和3年6月1日 | 令和4年3月31日 | 需用費 委託料 工事請負費 備品購入費 負担金、補助及び交付金 その他 | - 297,000 23,273,456 - - - | - 297,000 23,273,456 - - - | - 297,000 23,273,000 - - - | - - 456 - - | - | ①個体処理施設の導入により、従来の埋設処理から乾燥処理に変わるとなり、狩猟者の負担軽減に繋がった。 ②課題としては、個体処理施設運営に係る職員の負担が増加し、週に3回以上個体処理施設へ出向きインシシの投入、本体の起動、成果物の積み出し、成果物の分別、処理を行う必要があり、少ない人員での対応に苦慮している。 | | |
| 事業合計 | | | | | | | 7,050,000 | 7,050,000 | - | 7,050,000 | - | - | - | |
| 6 | 農業省力化生産資材導入支援事業 | 新型コロナウイルスの影響を克服するため、生産現場における作業員間の接触機会を減らすための省力化生産資材(生分解性マルチ)の導入を補助することで、感染拡大防止対策を行いつつ、農業従事者の労務負担軽減を図りながら、産地の維持とレジスタの安定供給を図る。また、土壌にすぎ込みを生分解性マルチの普及により、これまで使用してきたポリフィルムマルチの排出を削減することで、農プラスチック類の焼却・原燃料利用によるCO2排出や埋立などによる地球温暖化対策や環境への負荷低減を推進する。 | 【負担金、補助及び交付金】 農業省力化生産資材導入支援事業補助金7,050,000円 【対象面積:51.4ha 対象者:48件】 【対象者】16,866,190円(1/2補助、千円未満切り捨て)※1,428,000円、②上記付帯品(保護カバー及びキヤリングケース)1式=27,000円 ①200mmマルチ(有孔)13,860円×28本=388,080円、②200mmマルチ(無孔)11,990円×115本=1,378,850円、③400mmマルチ(有孔)27,610円×168本=4,638,280円、④400mmマルチ(無孔)22,220円×410本=9,110,200円、23,430円×60本=1,405,800円 | 令和3年6月1日 | 令和4年3月31日 | 需用費 委託料 工事請負費 備品購入費 負担金、補助及び交付金 その他 | - - - - 7,050,000 - | - - - - 7,050,000 - | - - - - 7,050,000 - | - - - - - - | - | ①省力化資材の導入による農家(48件)の作業時間の短縮が図られ、農プラスチック排出削減による環境保全型農業が実施された。 ②コロナ禍のもと資材高騰が続いており、農家の経営安定のため今後も継続した支援が必要である。 | | |
| 事業合計 | | | | | | | 3,177,000 | 3,177,000 | - | 3,177,000 | - | - | - | |
| 7 | 優良血統和牛繁殖支援事業 | 本町の中山間地域を中心に営まれる畜産業(繁殖牛農家)は、町の主要産業であるものの、その経営は小規模で従事者の高齢化も進み、併せて近年のコロナ禍による売り上げの不安定も重なり、経営体数の減少が危惧される。なお、牛肉は、国における農林水産物・畜産物の輸出拡大戦略に基づき重点的に位置づけられるものの、繁殖牛産地における優良血統和牛の繁殖確保のためには多額の費用が必要となる。そこで、優良血統和牛の精液及び受精卵の購入と併せ、受胎率向上を図るための超音波画像診断装置の導入を支援し、高品質な畜産物の生産を促進することで畜産経営の安定を図る。 | 【負担金、補助及び交付金】 ①【和牛精液及び受精卵購入補助金(1,722,000円)千円未満切り捨て】 ②【超音波画像診断装置導入補助金(1,455,000円)】①動物用超音波画像診断装置(本体及び経直挿用プローブ)1式=1,428,000円、②上記付帯品(保護カバー及びキヤリングケース)1式=27,000円 | 令和3年6月1日 | 令和4年3月31日 | 需用費 委託料 工事請負費 備品購入費 負担金、補助及び交付金 その他 | - - - - 3,177,000 - | - - - - 3,177,000 - | - - - - 3,177,000 - | - - - - - - | - | ①精液・受精卵190本の購入及び超音波画像診断装置を取り入れることで、高品質な畜産物の生産を促進し、畜産経営の安定を図った。 ②コロナ禍において、飼料高騰により経営に影響が出始めているため、引き続き畜産農家の支援が必要である。 | | |

| No | 交付対象事業の名称 | 事業概要 | 交付金を充当する経費内容 | 事業 始期 年月日 | 事業 終期 年月日 | 支出費目 | A | | | | | | 事業実績に基づく成果及び評価 ①成果・効果 ②評価(課題等) | |
|------|---------------------------------|---|--|-----------------|-----------------|--|--|--|--|-------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|---|--|
| | | | | | | | 総事業費 (B+G) | 補助対象事業費 | C 国庫補助額 | D 交付金充当経費 | E 起債額 | F その他 | | G 補助対象外経費 |
| 事業合計 | | | | | | | 2,250,000 | 2,250,000 | - | 2,250,000 | - | - | - | - |
| 8 | 農業経営収入保険加入促進支援事業 | 本町の基幹産業である農業は、自然災害による収量減少や市場価格の低下など様々なリスクにさらされる産業であり、とりわけ昨年から、新型コロナウイルス感染症の影響により、需要の減少に伴う価格低下や従業員が確保できないことに伴う作付面積の減少といったリスクが顕在化している。そこで、この様な農業者の経営努力では避けられない様々なリスクによる収入減少を補償する制度である農業経営収入保険への加入を促進すること併せ、農業者の保険料負担を軽減することで、地域農業者の経営の安定と農業の維持を図る。 | 【負担金、補助及び交付金】 農業経営収入保険掛金補助金(27経営体)：4,971,054円×1/2=2,485,527円-2,250,000円上限額 ※青色申告を行っている農業者個人及び法人 | 令和3年4月1日 | 令和4年3月31日 | 需用費 委託料 工事請負費 備品購入費 負担金、補助及び交付金 その他 | - - - - 2,250,000 - | - - - - 2,250,000 - | - - - - 2,250,000 - | - - - - 2,250,000 - | - - - - 2,250,000 - | - - - - 2,250,000 - | - | ①経営努力では避けられない様々なリスクによる収入減少を補償する制度である農業経営収入保険への加入を促進すること併せ、農業者の保険料負担を軽減することで、地域農業者の経営の安定と農業の維持を図った。 ②コロナ禍のもと、農家の収入減少に備え、加入促進と保険料への支援を考へて行く必要がある。 |
| 事業合計 | | | | | | | 1,807,000 | 1,807,000 | - | 1,807,000 | - | - | - | - |
| 9 | 貝類等養殖漁業支援事業 | 本町の漁業は、一本釣り・刺網・潜水等の漁船漁業、船積貝や船積の貝類養殖漁業、アサガの海産物養殖漁業が営まれており、特に貝類養殖漁業は、その生産物が本町の特産品であり、併せて小規模で従事者の高齢化が進む本町の漁業において若い世代の雇用の場となっている。しかしながら、近年のコロナ禍による外食産業等での需要の減少を受け、今後の経営計画を見直しざるを得ない状況にある。そこで、本町漁業の牽引役でもある貝類等養殖漁業の事業の拡大、設備導入を支援することで、高品質な貝類等の生産を促進し、養殖漁業の経営の安定と併せ漁業における雇用の維持を図る。 | 【負担金、補助及び交付金】 貝類等養殖設備更新費用補助金：①1,000千円×1経営体=1,000千円、②807千円×1経営体=807千円、合計(①+②)=1,807千円 | 令和3年6月1日 | 令和4年3月31日 | 需用費 委託料 工事請負費 備品購入費 負担金、補助及び交付金 その他 | - - - - 1,807,000 - | - - - - 1,807,000 - | - - - - 1,807,000 - | - - - - 1,807,000 - | - - - - 1,807,000 - | - - - - 1,807,000 - | - | ①本町漁業の牽引役でもある貝類等養殖漁業者2経営体の事業の拡大、設備更新を支援することで、高品質な貝類等の生産を促進し、経営の安定と漁業における雇用の維持を図った。 ②コロナ禍において資材高騰等厳しい状況であり、引き続き漁業者の支援が必要である。 |
| 事業合計 | | | | | | | 2,810,000 | 2,750,000 | - | 1,495,000 | - | 1,255,000 | 60,000 | - |
| 10 | 飲食店等感染防止対策事業(第2弾) | 収支が見えない新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている町内商工業事業者が実施する「新しい生活様式」に対応した感染防止対策を支援するため、感染対策事業に係る費用の一部を補助する。 | 【負担金、補助及び交付金】 感染防止対策事業補助金(商工業)25事業者2,810,000円(うち熊本県総合交付金1,255,000円充当) | 令和3年4月1日 | 令和4年3月31日 | 需用費 委託料 工事請負費 備品購入費 負担金、補助及び交付金 その他 | - - - - 2,810,000 - | - - - - 2,750,000 - | - - - - 1,495,000 - | - - - - 1,495,000 - | - - - - 1,255,000 - | 60,000 | - | ①町内25商工業事業者の感染防止対策設備の設置費用の一部を助成し、事業者の感染防止を図ることができた。 ②今後も引き続き感染症対策を推進する必要がある。 |
| 事業合計 | | | | | | | 1,752,335 | 1,752,335 | - | 914,000 | - | 838,335 | - | - |
| 11 | 中小企業新型コロナウイルス感染症対策特別利子補給事業(第2弾) | 新型コロナウイルス感染症により、熊本県金融円滑化特別資金(新型コロナウイルス感染症関連)の融資を受けた町内事業者に対し、利子補給による支援を行い、経営の安定化を図る。 | 【負担金、補助及び交付金】 中小企業新型コロナウイルス感染症対策特別利子補給事業補助金(4件申請)①R3年度支出額473,335円 【その他】 ②基金積立(R4年度～R8年度支出予定額分)1,276,537円-1,279千円(端数調整含む) 合計(①+②)=1,752,335円 | 令和3年4月1日 | 令和4年3月31日 | 需用費 委託料 工事請負費 備品購入費 負担金、補助及び交付金 その他 | - - - - 473,335 1,279,000 | - - - - 473,335 1,279,000 | - - - - 473,000 441,000 | - - - - 335 838,000 | - - - - 335 838,000 | - | ①町内の4商工業事業者の融資に対し利子補給を行い、事業継続の支援を図った。 ②今後も引き続き、令和8年度まで利子補給に対し支援を行っていく。 | |
| 事業合計 | | | | | | | 12,006,000 | 12,006,000 | - | 12,000,000 | - | 6,000 | - | - |
| 12 | 新型コロナウイルス感染症対策中小企業者等支援事業補助金 | 新型コロナウイルス感染症の影響による環境変化に対応した業態やサービス提供方法等に対応するため、中小企業者が実施する施設整備や販路拡大等の生産性向上に資する経費を支援することにより、事業継続とコロナ収束後の事業展開及び地域経済の活性化を図ることを目的に、対策事業に係る費用の一部を補助する。 | 【負担金、補助及び交付金】 新型コロナウイルス対策中小企業者等支援事業補助金(24件申請)12,006,000円 【その他】 ①25千円×12事業者×29日間×1/10(負担割合)=870千円、②25千円×2事業者×27日間×1/10(負担割合)=135千円、③32千円×1事業者×29日間×1/10(負担割合)=93千円【第2弾(最大54日間)R3.8.8(日)～9.30(日)】13,097千円 ④25千円×20事業者×54日間×1/10(負担割合)=2,700千円、⑤2事業者(3,978千円)×1/10(負担割合)≈397千円(千円未満切捨) | 令和3年6月1日 | 令和4年3月31日 | 需用費 委託料 工事請負費 備品購入費 負担金、補助及び交付金 その他 | - - - - 12,006,000 - | - - - - 12,006,000 - | - - - - 12,000,000 - | - - - - 6,000 - | - - - - 6,000 - | - | ①町内の24商工業事業者の「新たな生活様式」に対応するための新規事業を行う費用の一部を助成した。 ②今後も新型コロナウイルス感染症の影響下で行う新たな事業に対して、支援を行う必要がある。 | |
| 事業合計 | | | | | | | 4,195,000 | 4,195,000 | - | 4,195,000 | - | - | - | - |
| 13 | 新型コロナウイルス感染症対策営業時間短縮要請事業者協力金負担金 | 熊本県が新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、酒類を提供する飲食店等に対して行う営業時間短縮要請に応じた事業者に対する支援として給付を行う協力金について、その総額の10分の1を町が熊本県に負担することにより、町内の酒類を提供する飲食店等の事業継続に繋げる。 | 【負担金、補助及び交付金】 新型コロナウイルス感染症対策営業時間短縮要請事業者協力金負担金4,195千円 【第1弾(最大29日間)R3.5.16(日)～6.13(日)】1,098千円 ①25千円×12事業者×29日間×1/10(負担割合)=870千円、②25千円×2事業者×27日間×1/10(負担割合)=135千円、③32千円×1事業者×29日間×1/10(負担割合)=93千円【第2弾(最大54日間)R3.8.8(日)～9.30(日)】13,097千円 ④25千円×20事業者×54日間×1/10(負担割合)=2,700千円、⑤2事業者(3,978千円)×1/10(負担割合)≈397千円(千円未満切捨) | 令和3年5月1日 | 令和4年3月31日 | 需用費 委託料 工事請負費 備品購入費 負担金、補助及び交付金 その他 | - - - - 4,195,000 - | - - - - 4,195,000 - | - - - - 4,195,000 - | - - - - 4,195,000 - | - - - - 4,195,000 - | - | ①延べ37件の町内飲食店が熊本県の営業時間短縮要請を受けて減収した収入に対し支払った協力金の一部を負担した。 ②熊本県の営業時間短縮要請により町内の感染者数を減少させ、要請を受けた飲食店に協力金を支払うことで、減収の補填を行うことができた。 | |
| 事業合計 | | | | | | | 2,585,747 | 2,585,747 | 1,250,000 | 1,250,000 | - | 85,747 | - | - |
| 14 | 学校保健特別対策事業費補助金 | (学校再開に伴う感染症対策)・学習環境等に係る支援事業・学校教育活動継続支援事業(感染症対策のためのマスク等購入支援事業)学校の教育活動継続に際して、児童生徒・教職員等の感染症対策に必要な消毒薬等の保健衛生用品の購入。その他新型コロナウイルス感染症対策のためのオンライン会議が増加しており、町内小中学校に対応するため、各校1台ずつオンライン会議専用のノート型パソコンを導入する。 | 【需用費】 ①消耗品費：消毒薬等1,894,826円 ②修繕費：小中学校Web研修・会議用(教員)、LAN回線整備費276,871円 合計(①+②)=2,161,697円 【備品購入費】 学校Web会議用パソコン77,100円×5台×1.1=424,050円 | 令和3年4月1日 | 令和4年3月31日 | 需用費 委託料 工事請負費 備品購入費 負担金、補助及び交付金 その他 | 2,161,697 - - 424,050 - - | 2,161,697 - - 424,050 - - | 1,080,000 - - 170,000 - | 1,080,000 - - 170,000 - | - - - 84,050 - | - | ①学校における感染症対策用品の購入と、感染防止対策のためのオンライン会議が増加したために備品購入とLAN回線整備を行った。 ②今後も引き続き感染防止対策を行っていく必要があるため、保健衛生用品は必要となる。 | |
| 事業合計 | | | | | | | 426,000 | 426,000 | - | 426,000 | - | - | - | - |
| 15 | 地域公共交通維持確保支援事業(第2弾) | 天草エアーラインにおいては、R3年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響により航空需要は依然と変わらず、利用者数が通常時の半数程度と見込まれ資金ショートのおそれがあるため、天草地域の交通ライフラインとして重要な天草エアーラインの安定運航維持を図る。 | 【負担金、補助及び交付金】 17,179千円×2.48%(希北町負担割合)=426千円 | 令和3年4月1日 | 令和4年3月31日 | 需用費 委託料 工事請負費 備品購入費 負担金、補助及び交付金 その他 | - - - - 426,000 - | - - - - 426,000 - | - - - - 426,000 - | - - - - 426,000 - | - - - - 426,000 - | - | ①新型コロナウイルス感染症の影響により、見込利用率と乗客利用者の減少について支援を行った。 ②今後も、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策について支援の必要がある。 | |

| No | 交付対象事業の名称 | 事業概要 | 交付金を充当する経費内容 | 事業 始期 年月日 | 事業 終期 年月日 | 支出費目 | A | | | | | G 補助対象外経費 | 事業実績に基づく成 果及び評価 ①成果・効果 ②評価(課題等) | |
|------|----------------------------------|--|---|-----------------|-----------------|--|---|---|--|----------------------------|---|--------------|---|----------|
| | | | | | | | 総事業費 (B+G) | B 補助対象事業費 | C 国庫補助額 | D 交付金充当経費 | E 起債額 | | | F その他 |
| 事業合計 | | | | | | | 10,452,345 | 10,452,345 | - | 7,630,000 | - | 2,822,345 | - | |
| 16 | 指定管理施設支援 事業(第2弾) | 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、指定管理施設(3施設)の休館措置及び利用制限等を行った期間の収入減対策として、減収額の80%を支援する(上限10,000千円)。 | 【委託料】 (指定管理委託料) ①遊具センター[R3.4月~R4.3月分実績]7,843,410円(うち5,736,000円臨時交付金充当) ②総合センター[R3.4月~R4.3月分実績]939,270円(うち658,000円臨時交付金充当) ③遊具ホール[R3.4月~R4.3月分実績]1,577,890円(うち1,172,000円臨時交付金充当) ④老人福祉センター[R3.4月~R4.3月分実績]91,775円(うち64,000円臨時交付金充当) | 令和3年4月1日 | 令和4年5月31日 | 需用費 委託料 工事請負費 備品購入費 負担金、補助及び交付金 その他 | - 10,452,345 - - - - | - 10,452,345 - - - - | - 7,630,000 - - - | - - - - - | - 2,822,345 - - - | - | ①新型コロナウイルス感染症の感染対策として行った休館及び入館制限等により、大幅に減少した入館料等の支援を各施設の指定管理者に申し行った。 ②今後も、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて支援等の必要がある。 | |
| 事業合計 | | | | | | | 10,168,830 | 10,168,830 | - | 5,000,000 | - | 5,168,830 | - | |
| 17 | プレミアム付商品券 発行事業 | 新型コロナウイルスの影響により売上が減少している町内の事業者を応援するとともに町内での消費の喚起を図るため、40%プレミアム付き「等北わくわく商品券」を発行する。 | 【需用費】 (印刷製本費)40%プレミアム付「等北わくわく商品券」等印刷代(商品券・商品券用封筒・応募用お知らせチラシ・窓あき封筒)1,150,160円(うち熊本県総合交付金575,000円充当) 【委託料】 (事務委託料)387,323円(うち熊本県総合交付金193,000円充当) 【備品購入費】 総冊数72,800冊×1.10=80,080円(うち熊本県総合交付金40,000円充当) 【負担金、補助及び交付金】 商品券費用(プレミアム分)8,279,000円(うち熊本県総合交付金4,140,000円充当) 【その他】 郵便料84,408円、時間外勤務手当187,859円(うち熊本県総合交付金135,000円充当) | 令和3年9月1日 | 令和4年3月31日 | 需用費 委託料 工事請負費 備品購入費 負担金、補助及び交付金 その他 | 1,150,160 387,323 272,267 80,080 8,279,000 - | 1,150,160 387,323 272,267 80,080 8,279,000 - | 575,000 194,000 52,000 40,000 4,139,000 - | - - - 40,080 - | 575,160 193,323 220,267 40,080 4,140,000 - | - | ①販売額1,000円×7枚×4,200セット=29,400千円に対し、最終換金金額1,000円×29,279枚=29,279千円(使用率99.6%)であり、商品券を発行・販売したことにより、コロナ禍における町内経済の活性化に繋がった。 ②今後も必要に応じて、町内経済活性化対策を行っていく必要がある。 | |
| 事業合計 | | | | | | | 4,171,200 | 4,171,200 | - | 4,171,000 | - | 200 | - | |
| 18 | 会議録IT化推進事 業 | 行政のIT化を推進するため、AI音声認識技術を活用し、議会、各種委員会等における発言を自動で文字起こしすること、面倒な業務を機械に任せ、議事録作成・文字起こし業務の負担軽減、コスト削減、効率化を図る。 | 【委託料】 議事録作成支援システム導入委託料3,480千円×1.1=3,828,000円 【備品購入費】 マイクシステム等備品購入費312千円×1.1千円=343,200円 | 令和3年7月1日 | 令和4年3月31日 | 需用費 委託料 工事請負費 備品購入費 負担金、補助及び交付金 その他 | - 3,828,000 - 343,200 - - | - 3,828,000 - 343,200 - - | - 3,828,000 - - | - - - | - 200 - | - | ①議会予算審査、及び本会議においてシステムを使用し、音声のテキスト化を行い、議事録を作成した。これにより書記業務の軽減、議事録作成の外部委託費用の削減につながった。 ②今後議会関連会議以外の会議においてもシステムを活用し事務経費及び効率化につなげていく必要がある。 | |
| 事業合計 | | | | | | | 226,375 | 226,375 | - | 119,000 | - | 107,375 | - | |
| 19 | 新型コロナウイルス 対策農業経営安定 事業(第2弾) | 新型コロナウイルス感染拡大により農業収入の減少を受けた事業者が資金を借り入れる場合に、その金利負担を軽減するための利子補給を行うこと、併せて融資機関が保証料を借入者から徴収せずに債務の保証を実施する場合には、保証料の減額分を補てんすることで、資金調達の円滑化に繋ぎ、農業経営の維持安定を図る。 | 【負担金、補助及び交付金】 利子補給補助金及び保証料助成費補助金(4件)R3年度支出額19,375円 【その他】 新型コロナウイルス対策農林漁業経営安定事業基金積立207,000円 | 令和3年4月1日 | 令和9年3月31日 | 需用費 委託料 工事請負費 備品購入費 負担金、補助及び交付金 その他 | - - - - 19,375 207,000 | - - - - 19,375 207,000 | - - - - | - - - - | - - - 375 107,000 | - | ①事業者を対象に対し、利子補給・保証料支援を行うことができ、事業者の経営の維持安定を図ることができた。 ②今後も令和8年度までの利子補給・保証料支援を継続して行っていき、また、今後のコロナの影響次第で支援対象が増える可能性がある。 | |
| 事業合計 | | | | | | | 3,307,040 | 3,307,040 | - | 2,297,000 | - | 1,010,040 | - | |
| 20 | 公民館における安全・安心確保事業 (第2弾) | 町内4地区の各公民館が日常を取り戻し、地域活性化の活動を再開している。特にイベントに関しては屋外イベントに切り替わり地域住民の健康増進にも貢献している。また、コロナ対策として昨年度の台風時の避難場所としての反省をふま次のことを行う。①感染症拡大防止のため、会議室のマイクを複数使用するように改修することで安心して会議や屋内放送が行えるようにする。②屋外イベントが増え、参加者も増えてきた。しかし屋外では主催者の説明などの声が聞き取りにくい。参加者が近寄って密になるケースが出てきた。そのため屋外で使えるポータブルアンテナを購入し、屋外イベントにおける三密を解消する。 | 【備品購入費】 ①ワイヤレスマイク設備①500,300円×3セット×1.10=1,650,990円 ②ワイヤレスマイク設備②(アンテナ拡張工事含む)925,500円×1.10=1,018,050円 ③充電式マイクシステム一式145,000円×4セット×1.10=638,000円 合計(①+②+③)=3,307,040円(うち熊本県総合交付金1,000,000円充当) | 令和3年9月1日 | 令和4年3月31日 | 需用費 委託料 工事請負費 備品購入費 負担金、補助及び交付金 その他 | - - - 3,307,040 - - | - - - 3,307,040 - - | - - - | - - | - 1,010,040 - | - | ①マイク本数(性能)を増やすことにより、感染防止対策としての物理的な接触回数を減らし、加えて、除菌作業労務も軽減した。 ②整備した備品を最大限活用し、引き続き、感染防止対策を実施していく。 | |
| 事業合計 | | | | | | | 2,295,590 | 2,295,590 | - | 1,147,000 | - | 1,148,590 | - | |
| 21 | 公共的空間安全・安心確保事業(庁舎) | 寄北町役場庁舎大会議室は、議会関係会議や区長会議といった本町の重要な会議の会場として利用されている。現状、会議開催の際は、有線マイク2本・無線マイク2本を利用しているが、出席者が多人数となる場合、質問者と回答者がマイクを共有する場面があり、マイクを共有した感染リスクが危惧されている。そのため、コロナ対策として発言の態度、消毒作業を行っている。そこで、今回、本交付金を活用し、無線マイクを4本増設し、有線マイク2本・無線マイク6本の構成とすることで複数人がマイクを共有する場面を減らすことができ、感染回数を減らすことができるため会議運営上の負担軽減にも繋がると考えられる。また、役場庁舎・保健センター施設01の照明センサー式に改修することで、不特定多数の利用者の感染防止対策を講じる。 | 【需用費】 (環境整備費)役場庁舎01(4カ所・保健センター)1カ所のセンサー式LED照明改修1,355,000円×1.1=1,490,500円(うち熊本県総合交付金746,000円充当) 【備品購入費】 放送設備一式731,900円×1.1=805,090円(うち熊本県総合交付金402,000円充当) | 令和3年9月1日 | 令和4年3月31日 | 需用費 委託料 工事請負費 備品購入費 負担金、補助及び交付金 その他 | 1,490,500 - - 805,090 - - | 1,490,500 - - 805,090 - - | 744,000 - - | - - | 746,500 402,090 - | - | ①役場庁舎及び保健センターへの入庁者の感染防止対策を徹底することができた。(当該施設利用に起因する感染者0人) ②今後も引き続き、役場庁舎及び保健センターにおける感染防止対策として活用していく。 | |
| 事業合計 | | | | | | | 489,500 | 489,500 | - | 244,000 | - | 245,500 | - | |
| 22 | 公共的空間安全・安心確保事業(社会 教育施設)(第2弾) | 寄北町体育センターの更衣室に換気扇が設置されておらず、新型コロナウイルス対策として窓を開放して更衣する際にもいかに、換気扇を設置する。また、解熱運動公園においては、休憩場所における3密対策を行うため、プラスチックベンチを購入し安全な距離を確保できる配置にすることで3密対策の啓発及び対策を行う。 | 【需用費】 (環境整備費)体育センター更衣室換気扇取付104,500円×2カ所=209,000円(うち熊本県総合交付金105,000円充当) 【備品購入費】 解熱運動公園プラスチックベンチ17,000円×15脚×1.10=280,500円(うち熊本県総合交付金140,000円充当) | 令和3年9月1日 | 令和4年3月31日 | 需用費 委託料 工事請負費 備品購入費 負担金、補助及び交付金 その他 | 209,000 - - 280,500 - - | 209,000 - - 280,500 - - | 104,000 - | - - | 105,000 140,500 - | - | ①町内社会体育施設における感染防止対策に伴う環境整備を行うことができた。 ②今後も引き続き施設における感染防止対策を行っていくとともに、安心して施設利用をできる環境の維持を行っていく必要がある。 | |
| 事業合計 | | | | | | | 1,115,655 | 1,115,655 | - | 500,000 | - | 615,655 | - | |
| 23 | 小・中学校での感染 防止対策事業(単独 事業分) | 学校の教育活動継続に際して、児童生徒・教職員等の感染対策の徹底と安心できる環境づくりを行うために必要となる衛生対策用品の購入を行う。 | 【需用費(消耗品費)】 (マスク、消毒液、二酸化炭素測定器等)588,753円(うち熊本県総合交付金280,000円充当) 【備品購入費】 (モニター型サーマルカメラ)95,800円×11×5台=526,900円(うち熊本県総合交付金276,000円充当) | 令和3年6月1日 | 令和4年3月31日 | 需用費 委託料 工事請負費 備品購入費 負担金、補助及び交付金 その他 | 588,755 - - 526,900 - - | 588,755 - - 526,900 - - | 250,000 - | - - | 338,755 276,900 - | - | ①学校における感染症対策用品を納入し、学校教育活動を支援した。 ②今後も引き続き感染防止対策を行っていく必要があるため、保健衛生用品は必要となる。 | |

| No | 交付対象事業の名称 | 事業概要 | 交付金を充当する経費内容 | 事業 始期 年月日 | 事業 終期 年月日 | 支出費目 | A | | | | | | 事業実績に基づく成 果及び評価 ①成果・効果 ②評価(課題等) | |
|------|--------------------------------|---|--|-----------------|-----------------|------------|---------------|--------------|------------|--------------|----------|-----------|--|--------------|
| | | | | | | | 総事業費 (B+G) | B 補助対象事業費 | C 国庫補助額 | D 交付金充当経費 | E 起債額 | F その他 | | G 補助対象外経費 |
| 事業合計 | | | | | | | 13,860,495 | 13,571,745 | - | 6,787,000 | - | 6,784,745 | 288,750 | |
| 24 | 小・中学校情報機器 整備事業 | 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、遠隔学習・オンライン教育やICTを活用した家庭学習の需要が高まっており、文部科学省もGIGAスクール構想実現に向けてICT機器を用いた教育を推進している。また今後デジタル教科書への移行等が控えている中で、現在、各小中学校に導入している電子黒板及びモニターは購入後11年が経過しており、長年の使用で、画面・音声・コード類の接続口が故障しているものが多い。ICT機器は1人1台のタブレット整備により、各教科で頻りに使用されている。5教科とすると毎授業で使用するため、前述の機器の半減により授業が中断するなど支障をきたしており電子黒板・モニターは更新は必須であり、その導入を行う。 | 【需用費】 (消耗品費) 机天板拡張器具17セット(5個セット)×10,350円×1.1=193,545円(うち熊本県総交付金96,000円充当) 【委託料】 GIGAスクール用ネットワーク機器SE保守点検業務委託料211,200円(うち熊本県総交付金105,000円充当) 【備品購入費】 電子黒板:①320千円×27台×1.1=9,504,000円、②297千円×8台×1.1=2,613,600円 ③画面が33,000円×18台×1.1=1,049,400円 合計(①+②+③)=13,167,000円 【その他】 情報通信回線使用料288,750円(補助対象外経費) | 令和3年9月1日 | 令和4年3月31日 | 需用費 | 193,545 | 193,545 | - | 97,000 | - | 96,545 | ①学校ICT教育推進のための機材(電子黒板・画面カメラ)を購入し、学校教育活動を支援した。 ②授業時間の短縮や、紙書が見やすくなることによる理解度の向上等の効果が得られた。教員によって活用能力に差があり、研修等を行い能力の平準化を進めていく必要がある。 | |
| | | | | 委託料 | 211,200 | 211,200 | - | 106,000 | - | 105,200 | | | | |
| | | | | 工事請負費 | - | - | - | - | - | - | | | | |
| | | | | 備品購入費 | 13,167,000 | 13,167,000 | - | 6,584,000 | - | 6,583,000 | | | | |
| | | | | 負担金、補助及び交付金 | - | - | - | - | - | - | | | | |
| その他 | 288,750 | - | - | - | - | 288,750 | | | | | | | | |
| 事業合計 | | | | | | | 2,500,000 | 2,500,000 | - | 1,250,000 | - | 1,250,000 | - | |
| 25 | 感染防止対策事業 (保育所) | 保育所施設内における児童・職員等の新型コロナウイルス感染症予防対策のため、感染拡大防止のための備品等(マスク、消毒液、空気清浄機等)購入費を支援する。 | 【負担金、補助及び交付金】 感染防止対策事業補助金 ①400千円×5施設=2,000千円、②500千円×1施設=500千円 合計(①+②)=2,500千円(うち熊本県総交付金1,250,000円充当) | 令和3年4月1日 | 令和4年3月31日 | 需用費 | - | - | - | - | - | - | ①町内保育所における感染症対策用品を購入し、安全・安心な保育活動を支援した。 ②今後も引き続き感染防止対策を行っていく必要があるため、感染予防対策のための消耗品及び空気清浄機等の備品は必要となる。 | |
| | | | | 委託料 | - | - | - | - | - | - | | | | |
| | | | | 工事請負費 | - | - | - | - | - | - | | | | |
| | | | | 備品購入費 | - | - | - | - | - | - | | | | |
| | | | | 負担金、補助及び交付金 | 2,500,000 | 2,500,000 | - | 1,250,000 | - | 1,250,000 | | | | |
| その他 | - | - | - | - | - | - | | | | | | | | |
| 事業合計 | | | | | | | 938,000 | 938,000 | - | 938,000 | - | - | - | |
| 26 | 宿泊事業者支援事業 | 天草管内において感染者が増加したこと、及び8月8日から、まん延防止等重点措置が熊本県に適用されたことなどから、感染拡大防止を更に徹底するため、令和3年8月5日開催の町北町新型コロナウイルス対策本部会議において、町有施設の利用について、令和3年8月8日(金)から当該の間、町北町内居住者に制限を行うこととなった。 町が管理する施設の一つである富岡海水浴場も町内在住者のみに利用制限を行ったこと、富岡海水浴場の施設に加入し、海水浴場近隣にある宿泊施設において、海水浴ができない等の理由により多くの宿泊予約キャンセルが発生しているため、感染拡大防止措置により収益減の影響が大きい宿泊事業者に対する支援を行うことで事業継続に繋げる。 | 【負担金、補助及び交付金】 宿泊事業者支援金938,000円 ※キャンセルされた宿泊料金(消費税抜き)のうち、宿泊費の50%相当額468人分について、宿泊事業者に対し支援 | 令和3年8月1日 | 令和4年3月31日 | 需用費 | - | - | - | - | - | - | ①海水浴場の利用制限により453件の宿泊予約キャンセルがあり、収益減の影響があった宿泊事業者に対して支援をおこなった。これにより宿泊事業者の事業の継続に繋がった。 ②今後も、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて支援等の必要がある。 | |
| | | | | 委託料 | - | - | - | - | - | - | | | | |
| | | | | 工事請負費 | - | - | - | - | - | - | | | | |
| | | | | 備品購入費 | - | - | - | - | - | - | | | | |
| | | | | 負担金、補助及び交付金 | 938,000 | 938,000 | - | 938,000 | - | - | | | | |
| その他 | - | - | - | - | - | - | | | | | | | | |
| 事業合計 | | | | | | | 91,000 | 91,000 | - | 91,000 | - | - | - | |
| 27 | 町北町老人福祉センター事業継続支援事業(第2弾) | 新型コロナウイルス感染症予防対策として、施設利用者等を町北町内在住者限定にしたことにより、簡易宿泊事業(自主事業)において、町外利用者に対し予約をキャンセルしたことによる減収が生じたこと、そのための、減収対策として、減収額の1/2を支援し、事業継続支援を行う。(上限1,000千円) | 【負担金、補助及び交付金】 事業継続支援支援金:91千円 ①(7/17(火)~19(木)予約キャンセル分)2,040円×30人×3日×0.5=91,800円(千円未満切り捨て) | 令和3年8月1日 | 令和4年3月31日 | 需用費 | - | - | - | - | - | - | ①施設利用の制限を行ったことで、施設利用者が増減し、減収が生じたが、支援を行ったことで、事業の継続が図られ、安定した経営を行うことができた。 ②今後も、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて支援等の必要がある。 | |
| | | | | 委託料 | - | - | - | - | - | - | | | | |
| | | | | 工事請負費 | - | - | - | - | - | - | | | | |
| | | | | 備品購入費 | - | - | - | - | - | - | | | | |
| | | | | 負担金、補助及び交付金 | 91,000 | 91,000 | - | 91,000 | - | - | | | | |
| その他 | - | - | - | - | - | - | | | | | | | | |
| 事業合計 | | | | | | | 805,000 | 805,000 | - | 805,000 | - | - | - | |
| 28 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う病床確保事業(第2弾) | 本町においては、季節性インフルエンザの予防接種を町民へ勧奨し、接種費用の一部助成を行っている。冬場に流行するインフルエンザウイルス及び新型コロナウイルスに重複感染すると重症化することが予測され、「生命」も脅かしかねない状況である。 今回の新型コロナウイルスの感染拡大の防止、重症化及びまん延を予防することは、天草管内の感染症指定医療機関の限られた病床を確保するため重要であり、インフルエンザとの同時流行による医療機関への負荷の集中を避けるためにも重要であるため、従来の予防接種費用に上乗せ助成する。 | 【委託料】 インフルエンザ予防接種委託料(上乗せ補助)805千円(※9,204,800円のうち国R3補正分として8,399,800円) ①定期接種(65歳以上(定期))2,135人/3,015人(接種率70.8%) ②任意接種(6ヶ月以上~12歳(2回接種))1(回目)368人/559人(接種率65.8%)、(2回目)293人/559人(接種率52.4%) 【13~18歳】152人/351人(接種率43.3%) 【19~64歳】1,303人/2,977人(接種率43.8%) | 令和3年11月1日 | 令和4年3月31日 | 需用費 | - | - | - | - | - | - | ①インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行を防ぎ、医療負担の軽減に効果があったと考えられる。 ②任意接種 ③定期接種 ④任意接種 ⑤任意接種 ⑥任意接種 ⑦任意接種 ⑧任意接種 ⑨任意接種 ⑩任意接種 ⑪任意接種 ⑫任意接種 ⑬任意接種 ⑭任意接種 ⑮任意接種 ⑯任意接種 ⑰任意接種 ⑱任意接種 ⑲任意接種 ⑳任意接種 ㉑任意接種 ㉒任意接種 ㉓任意接種 ㉔任意接種 ㉕任意接種 ㉖任意接種 ㉗任意接種 ㉘任意接種 ㉙任意接種 ㉚任意接種 ㉛任意接種 ㉜任意接種 ㉝任意接種 ㉞任意接種 ㉟任意接種 ㊱任意接種 ㊲任意接種 ㊳任意接種 ㊴任意接種 ㊵任意接種 ㊶任意接種 ㊷任意接種 ㊸任意接種 ㊹任意接種 ㊺任意接種 ㊻任意接種 ㊼任意接種 ㊽任意接種 ㊾任意接種 ㊿任意接種 ①インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行を防ぎ、医療負担の軽減に効果があったと考えられる。 ②任意接種 ③定期接種 ④任意接種 ⑤任意接種 ⑥任意接種 ⑦任意接種 ⑧任意接種 ⑨任意接種 ⑩任意接種 ⑪任意接種 ⑫任意接種 ⑬任意接種 ⑭任意接種 ⑮任意接種 ⑯任意接種 ⑰任意接種 ⑱任意接種 ⑲任意接種 ⑳任意接種 ㉑任意接種 ㉒任意接種 ㉓任意接種 ㉔任意接種 ㉕任意接種 ㉖任意接種 ㉗任意接種 ㉘任意接種 ㉙任意接種 ㉚任意接種 ㉛任意接種 ㉜任意接種 ㉝任意接種 ㉞任意接種 ㉟任意接種 ㊱任意接種 ㊲任意接種 ㊳任意接種 ㊴任意接種 ㊵任意接種 ㊶任意接種 ㊷任意接種 ㊸任意接種 ㊹任意接種 ㊺任意接種 ㊻任意接種 ㊼任意接種 ㊽任意接種 ㊾任意接種 ㊿任意接種 | |
| | | | | 委託料 | 805,000 | 805,000 | - | 805,000 | - | 805,000 | | | | |
| | | | | 工事請負費 | - | - | - | - | - | - | | | | |
| | | | | 備品購入費 | - | - | - | - | - | - | | | | |
| | | | | 負担金、補助及び交付金 | - | - | - | - | - | - | | | | |
| その他 | - | - | - | - | - | - | | | | | | | | |
| 事業合計 | | | | | | | 8,399,800 | 8,399,800 | - | 8,399,000 | - | 800 | - | |
| 29 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う病床確保事業(第2弾) | 本町においては、季節性インフルエンザの予防接種を町民へ勧奨し、接種費用の一部助成を行っている。冬場に流行するインフルエンザウイルス及び新型コロナウイルスに重複感染すると重症化することが予測され、「生命」も脅かしかねない状況である。 今回の新型コロナウイルスの感染拡大の防止、重症化及びまん延を予防することは、天草管内の感染症指定医療機関の限られた病床を確保するため重要であり、インフルエンザとの同時流行による医療機関への負荷の集中を避けるためにも重要であるため、従来の予防接種費用に上乗せ助成する。 | 【委託料】 インフルエンザ予防接種委託料(上乗せ補助)8,399,800円(※9,204,800円のうち国R3補正分として8,399,800円) ①定期接種(65歳以上(定期))2,135人/3,015人(接種率70.8%) ②任意接種(6ヶ月以上~12歳(2回接種))1(回目)368人/559人(接種率65.8%)、(2回目)293人/559人(接種率52.4%) 【13~18歳】152人/351人(接種率43.3%) 【19~64歳】1,303人/2,977人(接種率43.8%) | 令和3年11月1日 | 令和4年5月31日 | 需用費 | - | - | - | - | - | - | ①インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行を防ぎ、医療負担の軽減に効果があったと考えられる。 ②任意接種 ③定期接種 ④任意接種 ⑤任意接種 ⑥任意接種 ⑦任意接種 ⑧任意接種 ⑨任意接種 ⑩任意接種 ⑪任意接種 ⑫任意接種 ⑬任意接種 ⑭任意接種 ⑮任意接種 ⑯任意接種 ⑰任意接種 ⑱任意接種 ⑲任意接種 ⑳任意接種 ㉑任意接種 ㉒任意接種 ㉓任意接種 ㉔任意接種 ㉕任意接種 ㉖任意接種 ㉗任意接種 ㉘任意接種 ㉙任意接種 ㉚任意接種 ㉛任意接種 ㉜任意接種 ㉝任意接種 ㉞任意接種 ㉟任意接種 ㊱任意接種 ㊲任意接種 ㊳任意接種 ㊴任意接種 ㊵任意接種 ㊶任意接種 ㊷任意接種 ㊸任意接種 ㊹任意接種 ㊺任意接種 ㊻任意接種 ㊼任意接種 ㊽任意接種 ㊾任意接種 ㊿任意接種 | |
| | | | | 委託料 | 8,399,800 | 8,399,800 | - | 8,399,000 | - | 800 | | | | |
| | | | | 工事請負費 | - | - | - | - | - | - | | | | |
| | | | | 備品購入費 | - | - | - | - | - | - | | | | |
| | | | | 負担金、補助及び交付金 | - | - | - | - | - | - | | | | |
| その他 | - | - | - | - | - | - | | | | | | | | |
| 事業合計 | | | | | | | 4,374,700 | 4,374,700 | - | 2,187,000 | - | 2,187,700 | - | |
| 30 | 感染防止対策事業 (小・中学校) | 現在、児童生徒のトイレ使用の状況から洋式トイレの使用が集中しており、和式トイレを洋式化することで、同一便室の使用頻度を分散させ、新型コロナウイルス等への感染リスクを減少させるため。(目安として児童生徒10人当たりに洋式便器1基)また、コロナ対策で導入した電気機器が増加した影響による配線改修も併せて行う。 | 【需用費】 (環境整備費)トイレ改修 ①坂瀬川小学校(2カ所)520千円×1.1=572千円、コンセント配線改修73千円×1.1=80,300円、②志岐小学校(6カ所)1,630千円×1.1=1,793千円、③富岡小学校(2カ所)614,000円×1.1=675,400円、④都呂々小学校(1カ所)400千円×1.1=440千円、⑤町北中学校(3カ所)740千円×1.1=814千円 | 令和3年12月1日 | 令和4年5月31日 | 需用費 | 4,374,700 | 4,374,700 | - | 2,187,000 | - | 2,187,700 | ①洋式便器の数を増やすことで同一便室の使用頻度を分散し、新型コロナウイルス等の感染リスクを減少させるための整備を行った。また、目安として児童生徒10人当たりに洋式便器1基を達成することで、使用頻度の分散を行う事ができた。 ②今後も引き続き学校での感染防止対策を徹底していく。 | |
| | | | | 委託料 | - | - | - | - | - | - | | | | |
| | | | | 工事請負費 | - | - | - | - | - | - | | | | |
| | | | | 備品購入費 | - | - | - | - | - | - | | | | |
| | | | | 負担金、補助及び交付金 | - | - | - | - | - | - | | | | |
| その他 | - | - | - | - | - | - | | | | | | | | |

| No | 交付対象事業の名称 | 事業概要 | 交付金を充当する経費内容 | 事業 始期 年月日 | 事業 終期 年月日 | 支出費目 | A | | | | | | 事業実績に基づく 成果及び評価 ①成果・効果 ②評価（課題等） |
|------|-----------------------|--|--|-----------------|-----------------|-------------|---------------|------------|---|-----------|---|-----------|--|
| | | | | | | | 総事業費 (B+G) | B | C | D | E | F | |
| 事業合計 | | | | | | | 1,700,000 | 1,700,000 | - | 1,700,000 | - | - | - |
| 31 | 子育て世帯等臨時特別支援給付金事業(単独) | 【コロナ克服・新時代開拓のための経済対策】(R3.11.19閣議決定)に基づき、新型コロナウイルス感染症が長期化しその影響が様々な人々に及ぶ中、子供たちを力強く支援し、その未来を拓く観点から、子育て世帯に対する臨時特別給付を実施した。これは0～18歳の児童を養育する者の年収が960万円以上の世帯を除き児童1人当たり10万円相当の給付を行う事業ですが、市北町においては子育て世帯を幅広く支援するため、権記事業の所得制限を撤廃することとした。 | 【負担金、補助及び交付金】 子育て世帯等臨時特別支援給付金： 対象児童数17人×100,000円＝ 1,700,000円 ※国の補助対象外児童に対する給付金 | 令和4年2月1日 | 令和4年5月31日 | 需用費 | - | - | - | - | - | - | ①国の子育て世帯等臨時特別支援給付金事業の対象となる、養育者の年収が960万円以上である町内8世帯の18歳以下の住民17人に対し、一人あたり100,000円の給付を行った。 ②緊急的な支援であり、その他の支援と複合的な効果があったと考えられるが、継続的な国の支援も引き続き必要である。 |
| | | | | | | 委託料 | - | - | - | - | - | - | |
| | | | | | | 工事請負費 | - | - | - | - | - | - | |
| | | | | | | 備品購入費 | - | - | - | - | - | - | |
| | | | | | | 負担金、補助及び交付金 | 1,700,000 | 1,700,000 | - | 1,700,000 | - | - | |
| その他 | - | - | - | - | - | - | - | | | | | | |
| 事業合計 | | | | | | | 10,625,020 | 10,625,020 | - | 3,000,000 | - | 7,625,020 | - |
| 32 | 町有施設等活用事業 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、都市部から地方への移住に関心を抱く人が増えている。また、テレワークの普及等により、働く場所を選ばない「新しい働き方」の選択肢が広がっている。都市部から地方への人の流れを創出し、新たなビジネス及び雇用の創出につなげるため、廃校となった校舎を活用し、シェアハウス等を整備し、地域活性化を実現する。 | 【需用費】 (環境整備費) ①内装改修等:1,275,560円、②水道管・トイレ改修等:3,740,000円、③通風環境等:485,000円、④電気計測メーター設置:2,090,000円、⑤正門進入路拡幅改修:495,000円、⑥その他修繕:1,284,460円合計①～⑥)＝ 9,370,020円(うち熊本県総合交付金4,730,000円充当) 【委託料】 屋内清掃管理委託料770,000円(うち熊本県総合交付金270,000円充当) 【その他】 (車等借上料)産廃処理費用485,000円(一般財源) | 令和4年2月1日 | 令和5年3月31日 | 需用費 | 9,370,020 | 9,370,020 | - | 2,500,000 | - | 6,870,020 | ①今回6つの部屋の整備を行ったが、すでに6つの部屋まで利用される予定である。令和5年4月から2部屋の利用が開始され、同年9月からさらに3部屋の2部屋も順次利用が開始される予定となっている。 ②風力発電に係る事業者へ貸し出すこととしており、期間は令和5年6月まで予定している。その後の利用は、現状未定となっているが、引き続き国等の支援も必要である。 |
| | | | | | | 委託料 | 770,000 | 770,000 | - | 500,000 | - | 270,000 | |
| | | | | | | 工事請負費 | - | - | - | - | - | - | |
| | | | | | | 備品購入費 | - | - | - | - | - | - | |
| | | | | | | 負担金、補助及び交付金 | - | - | - | - | - | - | |
| その他 | 485,000 | 485,000 | - | - | - | 485,000 | | | | | | | |

R3→R4繰越事業